

来年秋のワールド・トレイルズ会議鳥取大会

3万4000人動員目指す

実行委と事務局発足

2016年秋に開催される第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス(WTC)鳥取大会の実行委員会設立総会と事務局の発足式が19日、倉吉市の県中部総合事務所で行われ、事務局前に看板を設置し、大会成功を誓った。県ではウォーキングリゾート、スポーツツーリズムの拠点であることを広く国内外にアピールする好機と捉え、今年10月のアジア版の大会とともに力を入れていく。



WTC鳥取大会成功へ向け、事務局前に看板を掲げる山田修平実行委員長(左から2人目)ら19日、県中部総合事務所

実行委は、県ウォーキング協会の山田修平会長を会長に、ウォーキング関係者や県中部地区の商工会、行政、観光・旅館団体ら31団体で構成。事務局は同事務所にした。

WTC鳥取大会の大会長である平井伸治知事、副大会長の石田耕太郎鳥取中部ふるさと広域連合長、山田修平実行委会長らが事務局前に看板を設置。

設立総会で平井大会長は「スポーツツーリズムとして世界に売り込むチャンス」、山田会長は「まずはウォーキングを楽しみに、大会を通じて地域全体を元

気にしたい」と決意を語り、四つの専門部会で運営内容を協議していくことにした。

鳥取大会は16年秋に4日間の日程で、レセプションや国際会議(基調講演、分科会など)をはじめ、ウォーキング大会や食や文化・自然などが楽しめる観光フェスティバルなどを予定。共催イベントを含め3万4千人の動員を目指す。

今年10月16・20日にはプレ大会として、日本と中国、韓国のウォーキング団体によるアジア版国際会議「アジア・トレイルズ・カンファレンス(ATC)」

を開き、中部の東郷池や打吹山などを歩くウォーキング大会や国際会議を開いてWTCを盛り上げる。

県はWTCとATCの総事業費に約4千万円を見込んでおり、本年度はチラシやのぼりなどに230万円を補正で対応する。